

キトラ古墳周辺地区 基本計画検討委員会（第3回）

●検討資料骨子

I. 体験的歴史学習に係る事例の収集と分析

1. 体験的歴史学習機能の検討テーマ

これまでの委員会で検討されたキトラ古墳周辺地区計画の基本方針および体験的歴史学習の基本方針から、以下の体験的歴史学習機能の検討テーマが導き出される。

- ・特別史跡としてどのような解説及び資料展示をおこなっていくか
- ・東アジアの技術・文化の影響を受けた飛鳥時代の特性をどのようにして伝えるか
- ・飛鳥の歴史的風土をどのようにして活用するか
- ・展示やイベントを通して、地元とどのようなつながりを持たせていくか

2. 体験的歴史学習施設の事例分析

このテーマから全国の歴史学習施設を調査し、1. 屋内空間を中心とした展示手法、2. 屋外空間の整備手法、3. 施設において行われている諸活動について、事例をもとに現在の動向を述べるとともに特徴的な歴史学習施設を紹介する。

3. これからの体験的歴史学習に求められる機能

現在の歴史学習施設の動向から、これからの体験的歴史学習施設に求められる機能をまとめた。

- ・体験型・参加型展示機能
- ・屋外空間を活用した展示機能
- ・人材の育成機能
- ・歴史的資源の活用による地域の活性化機能

II. 飛鳥地方の類似施設における役割分担の検討

1. 飛鳥周辺の歴史学習施設の現状

飛鳥周辺の博物館・資料館等の類似施設の展示手法や各施設で行われている学習活動を整理し、現状の飛鳥観光の中で不足している展示手法と学習活動を抽出する。

○展示手法

- ・「見る・聞く」だけでなく「使う・操作する」展示手法を用いた学習展示
- ・小さな子供でも楽しめるよう、遊ぶことによって知識が身につく展示

○学習活動

- ・公園内にあるという条件を活かし、屋外空間を活用した体験型の歴史学習活動の展開

2. 飛鳥周辺の史跡と歴史学習施設のネットワーク

現在の飛鳥周遊の平均滞在時間約4時間、平均移動距離6kmという観光フレームを考えると、本地区と周辺の史跡や既存歴史学習施設との関係について、以下の要素が取り上げられる。

○場所性からの要素

- ・近鉄飛鳥駅より1.7km南下した場所に位置し、現在の飛鳥周遊ルートからは孤立した位置にあることから、本地区の立地条件に配慮した役割が示される。
- ・1日滞在を納得させる魅力をもつ展示学習施設であることが必要
- ・史跡の集積する飛鳥中心地から遠く法規制も緩やかなため、比較的自由度の高い整備と利用が可能である

○周辺の観光スポットとのネットワークからの要素

飛鳥周遊客の実際の行動圏域となる約6kmの道筋を、キトラ古墳周辺地区と交通動線の結節点である近鉄飛鳥駅・壺阪山駅の位置をもとに配置すると、キトラ古墳周辺地区と共通するテーマを持つ史跡や自然環境を結ぶルートが挙げられる。

- ・古墳時代終末期の古墳：キトラ古墳、岩屋山古墳、マルコ山古墳、牽牛子塚古墳、東明神古墳、森カシ谷古墳
- ・壁画古墳：キトラ古墳、高松塚古墳、高松塚壁画館
- ・渡来人の里：檜隈寺跡、清水谷遺跡
- ・田園景観：檜前の棚田、稲渕の棚田、檜前集落、大根田集落

3. 飛鳥周遊客のニーズ

飛鳥公園各地区及び飛鳥駅前ヒアリング調査で、飛鳥来訪時に参加したい活動を尋ねたところ、以下の意見が寄せられ、本地区でも対応していくこととする。

- ・実体験を通じた歴史学習の展開
- ・周辺の史跡や風景を楽しみながら巡ることができる解説展示とプログラムの設定
- ・星空や植物観察など自然事象を対象とした歴史学習展示と空間の創出
- ・「棚田でのお米づくり」や「クラフト工房」などお土産になる物がつくれる活動

4. キトラ古墳周辺地区内の施設が担うべき役割

飛鳥周辺の歴史学習施設の現状と本地区の特性から、本地区の歴史学習施設が担うべき役割は以下の通りである。

- ・歴史的資源の活用による地域の活性化機能・実体験を通じた歴史の理解を深める解説・展示であること
- ・田園環境を活かした屋外活動型の歴史学習が可能であること
- ・周辺の史跡を巡る意欲をかきたてる解説・展示であること

Ⅲ. 体験的歴史学習の展開方向

1. テーマの展開

本地区の体験的歴史学習のテーマを以下の3つに設定する。

- ・ 本物を体感する：『キトラ古墳にまみえる』
： 情報技術の発展の中で疑似体験的な展示が主流になるなかで、
ここではキトラ古墳や周辺環境がもつ「本物」の意義を重視した展示をおこなう
- ・ 時空を体感する：『飛鳥の刻(とき)を身にまとう』
： 来訪者の多くが求める飛鳥独特の歴史・文化への憧憬に応える、
往時の雰囲気に入れることができる展示をおこなう
- ・ 風土を体感する：『檜隈の田園環境と戯れる』
： これまでの「学んで遊ぶ」から「遊ぶことによって学ぶ」体験学習の本来の意味を
体感できる展示をおこなう

2. 手法の検討

本地区の体験的歴史学習機能の検討テーマに対応した手法を検討する。

- ・ 地中に眠る本物を五感を通して理解できる展示
- ・ 東アジアの史跡や研究者との文化交流を軸にした展示
- ・ 地形・自然環境・現況土地利用など飛鳥の風土に根付いた展示
- ・ 地域の人材・資源を積極的に活用した展示

3. 内容の検討

体験的歴史学習のテーマに基づき、キトラ古墳周辺地区で展開が可能な内容を挙げ、それぞれの手法、効果、展開場所の空間構成を検討する。

IV. 空間への展開方策の検討

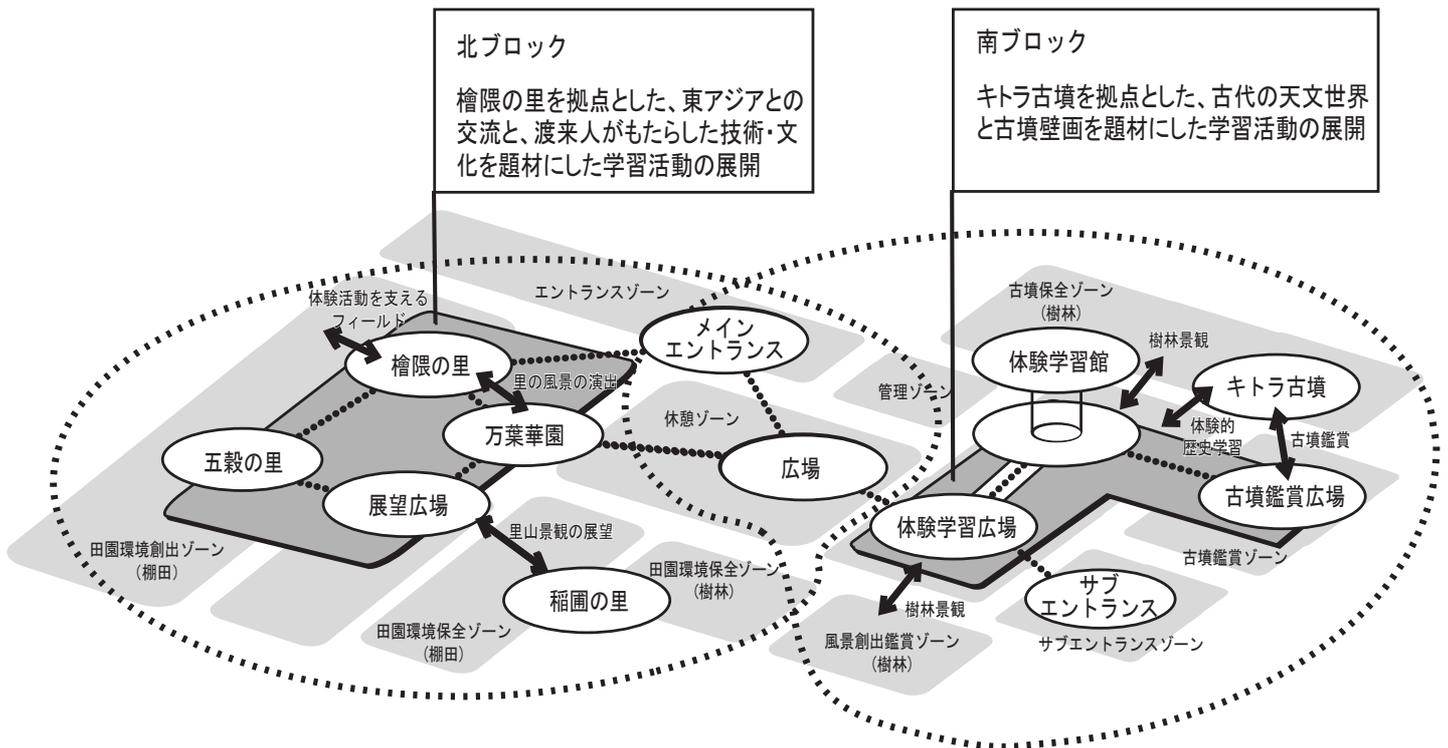
1. テーマと空間配置の検討

学習活動の展開場所を、キトラ古墳と檜隈寺跡がそれぞれ核となる南北二つの大きなブロックに分け、各施設でおこなう歴史学習展示を各施設の連携がスムーズで、かつ周辺の景観や地形、地域の資産を活用したものとする。

	南ブロック	北ブロック
核となる史跡	・キトラ古墳	檜隈寺跡 於美阿志神社

展開キーワード	・古代の天文世界 ・古墳壁画	・東アジアとの交流 ・渡来人がもたらした技術・文化
---------	-------------------	------------------------------

□体験的歴史学習の空間イメージ



□各ゾーンでの体験的歴史学習の展開方向

ブロック	エリア	ゾーン	施設 名称・規模	基本計画内の施設概要
南 ブ ロ ッ ク	歴史体験 学習 エリア	歴史体験 ゾーン	体験学習 館	本地区の歴史学習施設の拠点となるもので、キトラ古墳の解説と共に、飛鳥地方の歴史と文化を最新の展示手法を用いて分かりやすく展示する。なお、施設内の一部には明日香村が計画を進めている古代飛鳥の科学技術をテーマとした体験型の展示施設「古代科学館」の開設が検討されている。 また、本地区内全体のフィールドを有効に活用した体験学習の実施や、ボランティアの養成などのソフト事業も積極的に展開し、飛鳥の学習拠点をしての役割を担う。
			体験学習 広場	星宿図にちなんだ天文の観察や祭礼体験、発掘体験などの屋外の体験的歴史学習に対応可能な場とし、拠点展示施設との動線的連携を図り、様々な企画に対応する広場空間とする。
	古墳及び 周辺環境 保全 エリア	古墳鑑賞 ゾーン	古墳鑑賞 広場	キトラ古墳の全容が見渡せる広場を整備すると共に、季節感漂う野の花等による修景を行い、来館者にゆったりと古墳の鑑賞を行える場を提供する。小学生の遠足や修学旅行生、団体観光客の来園を考慮した規模とする。 また、古墳の概要を示した解説施設を周辺景観に馴染む大きさと形態で設置する。
北 ブ ロ ッ ク	歴史的風 土 保全活用 エリア	田園環境 創出 ゾーン	檜隈の里	渡来系氏族が居住していた地区にちなみ、東アジアからの技術が体験できる工房群を配置する。工房では専門のインストラクターによる指導のもと、単位制の講座や教室を開催する。 五穀の里については、体験学習館と対応させ、小学生などを対象とした体験学習教室の場として活用することも考えられる。飛鳥の歴史的風土を保全・活用するための基盤整備及び修景を行う。五穀など往時の田園環境を創出し、農作業体験学習の場として活用する他、檜隈の里での食材としての活用が検討される。
		田園環境 保全 ゾーン	稲圃の里	飛鳥地方の歴史的風土の主体となっている谷部の田園環境保全育成に必要な空間の基盤整備を行い、美しい棚田風景を保存しながらも、農作業の体験学習やオーナー制の体験農業に活用できる水田とする。 管理活動の参加者が利用できるレクチャー広場や作業小屋、道具小屋も設置する。 背後の里山も含めて田園環境の保全活動を体験できるフィールドとする

2. 体験的歴史学習の基盤となる地区特性の把握

特徴的な地形や植生など潜在的資源の保全活用を行うべく、史跡本体(史跡区域)との連携、地形の保全活用(棚田と地下空間の活用)を図るとともに、知的・体験的学習展示機能を持続させるための人的資源を確保するための地域の活力やボランティアの取り込みをおこなうものとする。

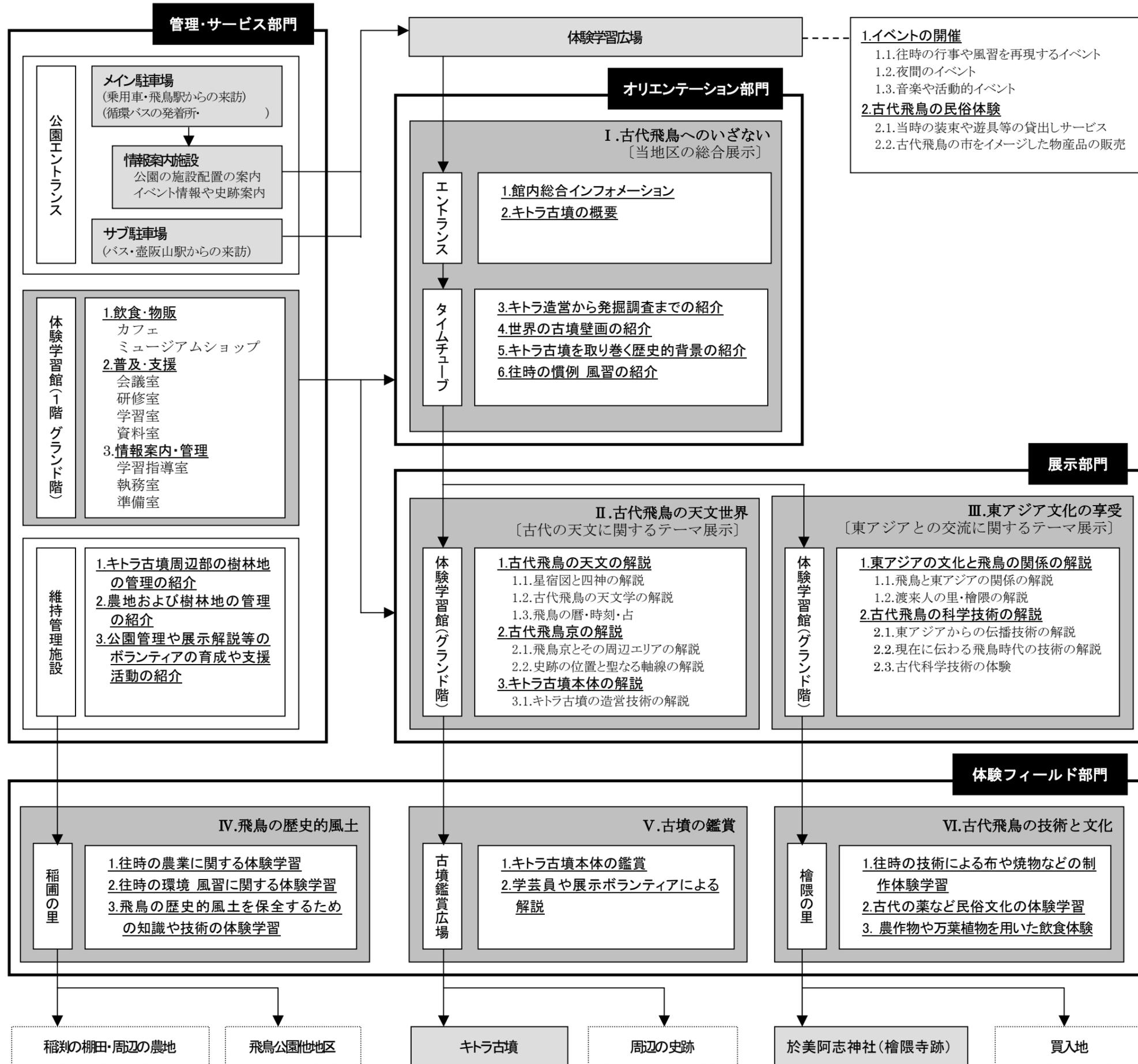
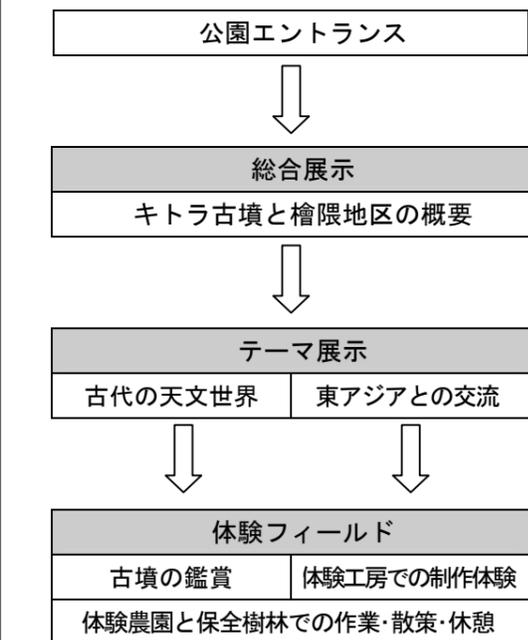
3. 機能の配置とプログラムの検討

本地区で体験的歴史学習を展開する拠点施設をオリエンテーション部門、展示部門、体験フィールド部門に分類し、各施設の学習機能の役割を明確にするとともに、そこで展開される展示のテーマとプログラムを設定する。

また、体験的歴史学習を支える駐車場や飲食・物販施設等の管理・サービス部門についても、ボランティア活動の拠点として機能させるなどの体験的歴史学習を支える役割を積極的に果たすものとして設定する。

□展示施設の構成

○キトラ古墳周辺地区での展示の内容



- 1. イベントの開催
 - 1.1. 往時の行事や風習を再現するイベント
 - 1.2. 夜間のイベント
 - 1.3. 音楽や活動的イベント
- 2. 古代飛鳥の民俗体験
 - 2.1. 当時の装束や遊具等の貸出しサービス
 - 2.2. 古代飛鳥の市をイメージした物産品の販売